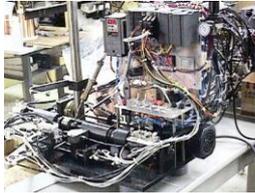


カナ	カブシキガイシャアーク	カナ	シオバラ ケイゴ	役職	代表取締役
企業名	株式会社アーク	代表者名	塩原 敬五		
所在地	〒969-6106 福島県大沼郡会津美里町黒川内29-3				
TEL/FAX	TEL: 0242-56-3971	FAX: 0242-56-3972	HPアドレス	http://arknw.co.jp/	
業種	コイル巻き製品の開発・製造・販売		創業年月	昭和63年	
資本金	2,425万円		従業員数(男女比)	29名 男女比(9:20)	

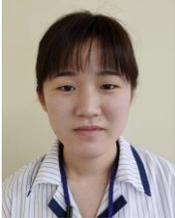
本社名	同上				
本社所在地	〒177-0033 東京都練馬区高野台2-27-35				
TEL/FAX	TEL: 03-3904-5007	FAX: 03-3904-5028	HPアドレス	同上	

沿革	<p>昭和63年 5月 東京練馬区に資本金500万円にて設立</p> <p>昭和63年 6月 全自動巻線機を導入し光ディスク用TRコイル、VCMコイルの生産を開始</p> <p>昭和64年 4月 若松市に会津工場を設立</p> <p>平成 7年 2月 旧本郷町に新会津工場設立移転</p> <p>平成10年10月 EE巻(α巻)全自動量産機AV型機の開発を完了</p> <p>平成11年 2月 会津工場を増設</p> <p>平成13年 3月 中国に平湖亜功电子有限公司を設立(独資)</p>	 <p>平成15年 3月 多連コイル用全自動量産機K-1の開発を完了</p> <p>平成21年 9月 自社製巻線ユニット化を完了</p> <p>平成27年 5月 手狭になった中国平湖工場を移転</p>
----	---	--

事業概要	<p>当社は大きさが0.5ミリの極小コイルから特大コイルまであらゆる仕様・形状のコイルをオアケ-メイトとして生産・販売しています。また、それに付随する後処理や組立によりユニット部品としての納入も手がけています。更に、近年ではこれまで培った巻線のノウハウを活かし、ユーザー様が望む特殊なコイルの巻線設備を安価にて納入といった巻線設備・省力化設備等の開発・販売も手がけています。特に、小さなドラムコイル・フォカコイル(DVD・CD等の読取ヘッドやカメラの手ぶれ防止機能に付随するコイル)を得意としており、価格優位性に自信を持っています。この理由としては、この手のコイルに特化した小型・高精度・超高速の従来型とは違った「全自動巻線機(κ型)」を開発しており、低価格と大きなキャパへの対応を可能にしたためです。また、用途によっては高効率となるEE巻コイル(従来多くの利点があるにもかかわらず生産コストが高いため一般化されていない)の全自動巻線機を開発し、従来のコイルと同等の価格での生産を可能にしました。</p>	       
------	--	---

主な取引先	凸版印刷(株) / (株)トプコン / トーキン(株) / 富士フィルムイメージングシステムズ(株) / 安川電機(株) / (株)キャノン / アポロ電気(株) / 日東工器(株) / 日本電子(株) (ほか)
-------	--

自社PR	<p>我社は『少年のような好奇心、青年の持つ妥協のない探究心、壮年の持つ遊び心で小さな可能性を実現させる』をテーマにコイル製造のエキスパート集団を目指して"できないとは言わない!!難しい事をさりげなく"をモットーに仕事をしております。我社の特徴として生産設備を自作することにより既成の概念にとらわれる事なくユーザーのニーズに満足する製品を提供し、また"設計者の自由な発想を妨げない"ためにも(これは無理だろう・こういうのができればいいのに等) アイデア+経験値によってお客様に満足していただいていると同時に、省力化・自動化をモチーフに生産効率の向上、大幅な低コスト化を実現しています。</p>
------	--

はたら先輩からのメッセージ	 <p>製造課 2課 大塚 紀奈乃 (入社1年目)</p> <p>初めは難しく感じる作業もありましたが、ミスをなくす為の工夫や、効率を上げるコツ等を教えていただき、少しずつ身に付くようになりました。作業スピードの向上の為、自分で具体的な生産数量や時間を決めて、取り組むことで、仕事に慣れると同時にやりがいを感じることも出来る。経験者の方は勿論、未経験の方も安心して動めることのできる職場だと感じております。</p>
---------------	--

代表者メッセージ	 <p>取締役 塩原 繁樹</p> <p>上杉鷹山の "為せば成る、為さねば成らぬ、何事も 成らぬは人の為さぬなりけり"を座右の銘とし、"やろうとしなければ物事はできない"つまり、どんな困難な事でも "やろうという気持ち" と "必ず達成できると信じる気持ち" があってはじめて道が拓けてくるものであるということ、また費用をかければ月にも行ける、あとはいかに費用をかけないかだけである、難しいことをさりげなく実行することがプロであり、そして競争力はそこから生まれる。</p> <p>"現在"の状態は"過去"の結果であり"未来"の状態をつくるのは"現在"の努力次第である。</p>
----------	--